静岡市国土強靱化地域計画【概要版】

1) **策定背景** (第1章P1~)

①国土強靱化地域計画とは

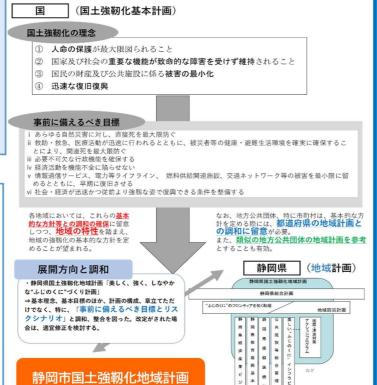
大規模自然災害などに備えるため、事前防災・減災と迅速 な復旧復興に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取組として計画的に実施し、強靱な国づくりと 地域づくりを推進する計画。

過去の大災害を教訓に、甚大な被害発生と長期間かけて復 旧・復興を図る「事後対策」の繰り返しを避け、最悪の事 態を念頭に、平時から備えを行うための計画

②基本法の制定

平成 25 年 12 月 11 日に「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」(以下「国土強靱化基本法」という。)が公布・施行され、国は、国土強靱化の基本方針や国が本来果たすべき役割を踏まえ、国土強靱化に関する施策の推進に関する基本的な計画(以下「国土強靱化基本計画」という。)を、平成 26 年 6 月に閣議決定し、国土強靱化基本計画の変更について平成 30 年 12 月に閣議決定している。国土強靭化基本法が制定されて 10 年が経過しようとする中、令和 5 年 6 月に国土強靭化実施中期計画の策定の法定化及び国土強靭化推進会議の設置を主な内容とする改正国土強靭化基本法が可決・成立した。また、近年の災害から得られた貴重な教訓や社会経済情勢の変化等を踏まえ、同年 7 月に国土強靭化基本計画を改定している。

③国土強靱化基本計画と地域計画

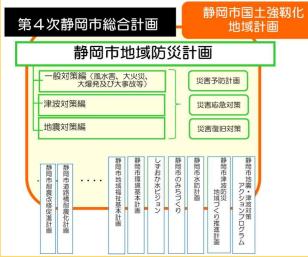


計画の位置付け (第1章 P3~)

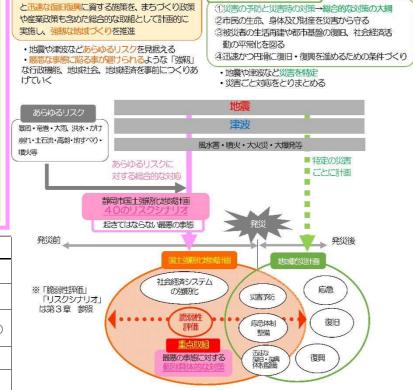
3 静岡市地域防災計画との関係・相違(第1章 P5~)

静岡市地域が災計画の概要

模自然災害等に備えるため、事



	国土強烈比地或計画	地或防災計画
検討 アプローチ	地域で想定される自然災害全般 (複数災害の発生考慮)	災害の種類ごと
主な像フェーズ	発災前~復興【全体】 主な対象は <mark>発災前</mark>	応急・復旧・復興 主な対象は発災時・発災後
掲載内容	災害に対する横断的な「プログラム」(目標を達成するための施策群)の方針、目標を定めた個別具体的な実行計画	市域全域の防災対策 (具体、詳細施策の記載が少ない)
施策の設定方 法	脆弱性評価、リスクシナリオ に合わせた施策	_
対策の推進方 法	強靭化の推進方法、 <u>数値目標</u> 等による強固な 推進体制	_



4) 計画概要(第1章~第3章、P1、7、14、15ほか)

①静岡市国土強靱化地域計画の特徴

本市では、昭和 49 年に発生した「七夕豪雨」により浸水、土砂崩れなど市内全域で甚大な被害に見舞われ、また、昭和 51 年の東海地震説が発表されたことから、様々な災害対策を推進してきた。しかしながら、近年、全国的に自然災害の頻発化・激甚化している状況踏まえ、従来の施策強化や、事業の早期進捗、新たな対策等が不可欠となっている。このため、大規模自然災害等の様々な危機について想定される最悪の事態を回避する必要がある。市民の生命と財産を守り、社会経済への被害が致命的にならないようにする「強さ」と、被災から迅速に回復する「しなやかさ」を備えた「"強くてしなやかな"静岡」の実現のため、静岡市国土強靱化地域計画を令和2年11月に策定した。策定にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策やSDGsを意識した記載、取組指標の見える化など、本市独自の内容を盛り込んでいる。また、本市では「令和4年台風第15号」の災害対応において様々な課題が生じたことから、「災害対応力強化実施計画」を策定し、災害対応力の強化に向け取組を進めている。このように、近年の災害から得られた教訓や社会情勢の変化等を踏まえ、本計画を随時改定していくこととする。

②基本理念

本市では、国土強靱化の趣旨を踏まえ、大規模災害に係る復旧・復興段階をも事前に見据え、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定とそれに備える様々な事業を実施することにより、「"強くてしなやかな"静岡」実現を理念とし、「安全・安心をみんなで創る、強くしなやかで持続可能なまち」を目指すものとする。

4. 脆弱性評価

4つの基本目標を達成するため、「事前に備えるべき目標」とその妨げとなるものとして「リスクシナリオ(起きてはならない最悪の事態)」を想定・設定し、リスクシナリオごとに本市の防災・減災、その他迅速な復旧・復興等に資する施策を整理して、リスクを避けるための施策の有無や偏り、その進捗状況等を総合的かつ客観的に評価することによって課題を洗い出す。

③基本目標

- ① 人命の保護が最大限図られること
- ② 地域社会の重要な機能が致命的な障害を受けず に維持されること
- ③ 市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化を 図ること
- ④ 迅速な復旧復興を果たすこと

⑤対象とする災害

自然災害の中で、本市地域特性上、最も甚大な被害を及ぼすと想定される「南海トラフ巨大地震」における地震・津波を中心に、台風・豪雨等による風水害、土砂災害等を含めた大規模自然災害を対象とする。

⑥リスクシナリオ設定

事前に備えるべき目標		起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)
	1 - 1	地震による建物等の倒壊や火災による死傷者の発生
	1 - 2	広域にわたる大規模津波等による多数の死者の発生
		台風、豪雨などによる広域かつ長期的な市街地等の浸水に
	1 - 3	よる死傷者の発生(ため池の損壊によるものや、防災イン
1 大規権自然災害が発生した	1-3	フラの損壊・機能不全等による洪水・高潮等に対する脆弱
・ 人衆侯日忠炎吾が光王じた 時でも、人命の保護が最大限図		な防災能力の長期化に伴うものを含む)
Sha.	1 - 4	大規模な土砂災害による多数の死傷者の発生のみならず、
541-90	1 - 4	後年度にわたり国土の脆弱性が高まる事態
	1 - 5	情報伝達の不備や防災意識の低さ等による避難行動の遅
	1-5	れ等で多数の死傷者が発生
	1 - 6	火山噴火や火山噴出物の流出等による多数の死傷者の発
	1 0	生
	2 - 1	被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物
	2 1	資エネルギー供給の停止
	2 - 2	多数かつ長期にわたる孤立地域等の同時発生
	2 - 3	消防・警察・自衛隊等の被災等による救助・救急活動等の
	2-3	絶対的不足
	2 - 4	教助・教急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶
		想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者 (観光客を含む)
2 大規権自然災害発生直後か	2 - 5	への水・食料等の供給不足
2 大規模日 添沢 音光生 直 俊か ら 教助・教魚、医療活動等が汎	2 - 6	医療施設及び関係者等の絶対的不足・被災、医療機能の麻
東に行われるとともに、被災者:	2-6	瘅
をに110れることもに、仮火4 等の健康・避難生活環境を確実	2 - 7	被災地における疫病・感染症等の大規模発生
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 - 8	避難所が適切に運営できず避難所の安全確保ができない
を最大限防ぐ。	2-8	事態
C AR / C BAR / C O	2 - 9	緊急輸送路等の途絶により教急・救命活動や支援物資の輸
	2-9	送ができない事態
	2 - 10	劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多
	2 - 10	数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生
		応急仮設住宅等の住居支援対策の遅延による避難生活の
	2 - 11	長期化
	2-12	被災者へのきめ細かい支援の不足による心身の健康被害
	2-12	の発生
3 大規模自然災害発生直後か		
ら必要不可欠な行政機能は確保	3 - 1	市の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下

4 - 1 よら経済活動の停滞 4 - 2 コンピナート・重要な産業施設の損壊、火災、爆発等 4 - 2 コンピナート・重要な産業施設の損壊、火災、爆発等 4 - 3 基幹的交通ネットワーク (廃止・海上) の機能停止 4 - 3 基幹的交通ネットワーク (廃止・海上) の機能停止 4 - 4 食料等の変定供給の停滞 4 - 5 業の停滞 4 - 6 機能・条件や生態系等の被害に伴う国土の気度・多面的機能の低圧 テレビ・ラジオ放送の中断や通信インフラ障害により・インターネット・SNS など、災害時に活用する情報サービスが機能停止し情報の収集・伝達ができず避難行動や牧助・支援が遅れる事態 4 - 6 大規模自然災害発生後であっても、必要不可欠な情報通信機能、生活・経済活動に必要最小限の電気、ガス、上下水道、熱料、交通ネットワーク等を確保するととしに、これらの早期数1にわたる機能の停止 5 - 2 地域で通ネットワークが分断する事態 6 - 1 上下水温等の展別間にわたる機能の停止 5 - 3 地域フェニティの崩壊、治室の悪化等により、後日・復興が大幅に遅れる事態 6 - 2 り後田・復興が大幅に遅れる事態 6 - 3 地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により、後日・復興が大幅に遅れる事態 6 - 4 復興が大幅に遅れる事態 6 - 5 広域、長期にわたる浸水被害及び成状化の発生により、後日・復興が大幅に遅れる事態 6 - 6 本機能と終、接近等の基幹インフラの損壊により、後日・復興が大幅に遅れる事態 6 - 6 が表が高に遅れる事態 6 - 6 本機能と終、接近等の基幹インフラの損壊により、後日・後興が大幅に遅れる事態 6 - 6 本機能と終、接近等の基幹インフラの損壊により、後日・後興が大幅に遅れる事態 4 - 7 表別を開かる事態を対してきる条件を整備 5 - 8 を実施と終してきる条件を影響を表が表が描に遅れる事態 4 - 7 表別を開かる事態を表が表が描しまれる事態 4 - 7 表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表			
4 - 大規模自然災害発生後であっても、経済活動(サプライチェーンを含む)を機能不全に陥らせない。 4 - 3 基幹的交通ネットワーク(陸上・海上)の機能停止 4 - 3 長科等の交産供給の停滞 4 - 6 教科等の交産供給の停滞 4 - 6 教科等の交産供給の停滞 4 - 6 機能の格下 5 - 大規模自然災害発生後であっても、必要不可欠な情報適信機能、生活・経済活動に必要最小限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するととに、これらの早期復旧を図る。 5 - 1		4 - 1	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力の低下に
4 - 大規模自然災害発生後であっても、経済活動(サプライチェンを含む)を機能不全に協 らせない。 4 - 3 基幹的交通株当の停着 4 - 4 食料等の安定供給の停着 4 - 6 機能不全に協 らせない。 4 - 6 機能不全に協 らせない。 5 大規模自然災害発生後であっても、必要不可欠な情報通信機能、生活・経済活動に必要最 小原の電気、ガス、上下水道、燃料、交送セットワーク等を確 保するとともに、これらの早期 復旧を図る。 5 - 1 上下水道・燃料・交送セットワーク等を確 保するとともに、これらの早期 復旧を図る。 5 - 2 関加にむたる機能の停止 5 - 3 都市ガス供給・石油・LPガス等の燃料供給施設等の長 期間にむたる機能の停止 5 - 4 上下水道の展開にむたた機能が停止 5 - 5 地域交差ネットワークが分断する事態 6 - 1 上の、復興が大幅に遅れる事態 6 - 2 収穫自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再社・変換が大幅に遅れる事態 6 - 4 機関が大幅に遅れる事態 6 - 5 地域交差・アラークの機構、治療をとし入材・資機材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 6 - 4 機関が大幅に遅れる事態 6 - 5 地域で発生が大幅に遅れる事態 6 - 5 地域で発光が大幅に遅れる事態 6 - 6 を輸送器、鉄造等の基幹インフラの根域により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6 - 5 地域で発光が大幅に遅れる事態 6 - 6 を輸送器、鉄造等の基幹インフラの根域により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6 - 5 が表が必要に遅れる事態 6 - 6 を募が迅速に再れる事態 6 - 7 機関が大幅に遅れる音能 6 - 7 機関が大幅に遅れる音能 6 - 8 数別が大幅に遅れる音能 6 - 8 数別が大幅に遅れる音能 6 - 7 機関が大幅に遅れる音形・無形の変化の表述・地域コミュニティの崩壊等により、表生用地の確保・遅れる事態 6 - 7 機関が大幅に遅れる音形・無形の変化の含薬・発生等により、後日・後界数の変化を、遅延等により、後日・6 名事態			
	4 大規模自然災害発生後であ		
エーンを含む) を機能不全に陥 6 セ		4 - 3	基幹的交通ネットワーク(陸上・海上)の機能停止
# 2-5		4 - 4	食料等の安定供給の停滯
## 20		4 - 5	観光業、商業、農業、漁業等あらゆる産業の被害拡大と産
4-6 機能の低下 テレビ・ラジオ放送の中断や適信インフラ陽害により、イ ンターネット・SSS など、災害時に活用する情報サービス が機能停止し、情報の収集・伝達ができず避難行動や牧助・ 支援が遅れる事態 を主活・経済活動に必要最 小規模にわたる機能の停止 参拝、交通ネットワーク等を確 保するとともに、これらの早期 復旧を図る。 5-2 電力供給ネットワーク(発変電所、送配電設備)の長期 同・大規模におたる機能の停止 5-3 期間にわたる機能の停止 5-4 上下水道等の長期間にわたる機能停止 5-5 地域交通ネットワークが分断する事態 6-1 力、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-2 道路容開等の復旧・復興を担う人材・資機材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 5-3 期が上がころ機能の選択といる機能が発 た成に発生する実容疾薬物・災害発生土砂の処理の停滞により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 5-3 関系が幅に遅れる事態 5-4 位別が大幅に遅れる事態 5-5 域域である光解を形から速しまり、復旧・復興が大幅に遅れる事態 5-6 域域が大幅に遅れる事態 5-6 は成成、長期にわたる浸水液溶及び液状化の発生により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 5-7 機関が大幅に遅れる事態 5-8 気を能しまれる事態 5-8 気が変更を発いた。後に受する条件を整備 5-7 機関が大幅に遅れる事態 5-8 気が変更の表験インフラの損壊により、復日・後興が大幅に遅れる事態 5-8 気が変更の表験インフラの損壊により、復日・後興が大幅に遅れる事態 5-7 機関が大幅に遅れる事態 5-8 気が変更の表験インフラの損壊により、復日・後興が大幅に遅れる事態 5-8 最終がある形態を見び液状化の発生により、後日・後期が大幅に遅れる事態 5-8 最終がある形態を見び液状化の発生により、後日・6-7 機関が大幅に遅れる事態 5-8 最終がある事態を見び流状化の発生により、後日・6-7 機関が大幅に遅れる事態 5-8 最終が表現で変更が表現を表現される事態 4 実別性の音楽、光度による音形、無形の文化的変更、発生等により、後日・ 5-7 機能の消失、事業用地の複像、発生等により、後日・20 表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表		4 3	業の停滞
機能の低下		4 - 6	農地・森林や生態系等の被害に伴う国土の荒廃・多面的
5 - 大規模自然災害発生後であっても、必要不可欠な情報通信機能、生活・経済活動に必要数 小限の電気、ガス、上下水道、		4 - 0	機能の低下
5 大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速 6 大規模自然災害発生後であっても、地域は大幅に遅れる事態 6 大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速 6 大規模自然災害発生後であっている。 6 大規模自然災害発生を増加。 6 大規模自然災害発生を対し、後継、対域に遅れる 6 大規模自然災害発生を対し、後継、対域に遅れる 6 大規模自然災害発生を対し、後継、対域に遅れる 6 大規模自然災害発生を対し、表現は対域は対し、表現は対域は対域対域が対域が対域が対域が対域に遅れる 6 大規模に対している。 6 大規模は、大規模は、大規模は、大規模は、大規模は、大規模は、大規模は、大規模、対域、大規模、大規模、対域、大規模、大規模、大規模、大規模、大規模、大規模、大規模、大規模、大規模、大規模			テレビ・ラジオ放送の中断や通信インフラ障害により、イ
のでも、必要不可欠な情報通信 機能、生活・経済活動に必要赦 小限の電気、ガス、上下水道、 整料、交通ネットワーク等を確保するととは、これらの早期 復旧を図る。 5-2 間・大規模にわたる機能の停止 5-3 間・大規模にわたる機能の停止 5-4 上下水道等の長期間にわたる機能の停止 5-5 地域交通ネットワークが分断する事態 6-1 定路管開等の復旧・復興を担う人材・資機材等の不足により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-2 地域で通ネットワークが分断する事態 6-3 地域で通ネットワークが分断する事態 6-3 地域で通ネットワークが分断する事態 6-4 復興が大幅に遅れる事態 6-5 が成に遅れる事態 6-6 体験性の消失・接近等の基幹インブラの損壊により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-6 体験を診断・数値等の基幹インブラの損壊により、復日・復興が大幅に遅れる事態 6-6 体験を診断が描に遅れる事態 6-7 複異が大幅に遅れる事態 6-7 複異が大幅に遅れる事態 6-8 検別が大幅に遅れる事態 6-7 複異が大幅に遅れる事態 4 投票が大幅に遅れる事態 6-8 検別を必要を発酵が大幅に遅れる事態 6-7 複異が大幅に遅れる事態 4 投票がた幅に遅れる事態 4 投票が上間に遅れる事態 4 投票が上間で現まれます。 大幅に遅れる事態 4 投票が上間で現まれます。 大幅に遅れる事態 4 投票が上間で現まれます。 大幅に遅れる事態 4 投票が上間で現まれます。 大幅は対したの発生により、後日・発験が大幅に遅れる事態 4 投票機能の消失、事業用地の解像・発失・実施による有形、無形の文化的表達・発送等により、後日・		E 1	ンターネット・SNS など、災害時に活用する情報サービス
接能、生活・経済活動に必要級 小限の電気、ガス、上下水道、 燃料、交通ネットワーク等を確 供するともに、これらの早期 後旧を図る。 5-2 間・大規模にわたる機能の停止 5-3 都市ガス供給・石油・L P ガス等の燃料供給施設等の長 期間にわたる機能の停止 5-3 地域で連ネットワーク等を確 大量に発生する災害廃棄物・災害発生土砂の処理の停滞に より、後旧・復興が大幅に遅れる事態 6-1 定解で割物の復旧・復興を担える事態 6-2 均復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-3 地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により、後旧・復興が大幅に遅れる事態 6-4 復興が大幅に遅れる事態 6-5 に減、長期にわたる浸水液管の発生により、後旧・復興が大幅に遅れる事態 6-6 (表達が迅速に再れる事態) 6-7 機能と野、鉄道等の基幹インフラの損壊により、後旧・復興が大幅に遅れる事態 6-8 (表達が迅速に再れる事態) 6-6 (表達が迅速に再れる事態) 6-7 (表達によれる事態) 6-8 (表達が迅速に再れる事態) 6-6 (表達が迅速に再れる事態) 6-7 (表達の光度・大幅に遅れる事態) なった。地域社会・経済が迅速に存れる事態 6-8 (表達が迅速) 6-8 (表達が迅速) 6-7 (表達の光度・大幅に遅れる事態) なった。地域社会・経済が迅速 6-8 (表達が迅速) 6-8 (表達が迅速) 6-8 (表達が大幅に遅れる事態) なった。大規模自然災害発生を整備 する。 4 (表質が大幅に遅れる事態) なった。大規模自然災害発生が大幅に遅れる事態 なった。大規模といた。大幅に遅れる事態 表述をから発生が大幅に遅れる事態 表述をから発生が大幅に遅れる事態 表述をから発生が大幅に遅れる事態 表述をから表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表		5-1	が機能停止し、情報の収集・伝達ができず避難行動や救助・
小限の電気、ガス、上下水道、 燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期 復日を図る。			支援が遅れる事態
燃料、交通ネットワーク等を確保 子子の 1 分別 1 分別 2 分別 2 分別 2 分別 2 分別 2 分別 2 分別		5 - 2	電力供給ネットワーク(発変電所、送配電設備)の長期
様用を図る。 5 - 3		5-2	間・大規模にわたる機能の停止
期間にわたる機能の停止 5-4 上下本選等の長期間にわたる機能停止 5-5 地域交通ネットワークが分断する事態 6-1 大量に発生する災害廃棄物・災害発生土砂の処理の停滞により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-2 り復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-2 均復田・復興が大幅に遅れる事態 6-3 地域コミュニティの崩壊、前安の悪化等により、復田・復興が大幅に遅れる事態 6-4 復興が大幅に遅れる事態 6-5 広域、長期にわたる浸水被害及び歳状化の発生により、復田・復興が大幅に遅れる事態 6-6 被調が大幅に遅れる事態 6-5 広域、長期にわたる浸水被害及び歳状化の発生により、復田・復興が大幅に遅れる事態 6-6 本態 6-7 横震な文化財や模型的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形、無形の文化的衰退・喪失 境界情報の消失、事業用地の確保・完任を失		F 2	都市ガス供給・石油・LPガス等の燃料供給施設等の長
5-4 上下水道等の長期間にわたる機能停止 5-5 地域交通ネットワークが分新する事態 6-1 大量に発生する災害酸薬物・災害発生土砂の処理の停滞により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-2 短路溶開等の復旧・復興を担う人材・資機材等の不足により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-3 興が大幅に遅れる事態 6-4 階急輸送路、鉄道等の基幹インフラの損壊により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-4 では、長期にわたる要称と応求した。 は、長期にわたる受水液溶及び液状化の発生により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-5 は、長期にわたる浸水液溶及が液状化の発生により、復に再建・回復できる条件を整備 6-6 は、長期にわたる浸水液溶及が液状化の発生により、復じる事態 6-7 機関が大幅に遅れる事態 6-7 機関が大幅に遅れる事態 6-7 機関が大幅に遅れる事態 6-8 機形が力を開発の確保ができず、生活再建が大幅に遅れる事態 6-7 機関が大幅に遅れる事態 6-8 機関が大幅に遅れる事態 6-9 機関が大幅を振れる事態 6-9 機関が大幅を振れる事態 6-9 機関が大幅を振れる事態 6-9 機関が大幅を振れる事態 6-9 機関が大幅を振れ		5-5	期間にわたる機能の停止
6-1 大量に発生する災害廃棄物・災害発生土砂の処理の停滞により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-2 短路溶開等の復旧・復興を担う人材・資機材等の不足により復旧・復興の大幅に遅れる事態 6-3 地域コミニニティの崩壊、治安の悪化等により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-4 復興が大幅に遅れる事態 6-4 復興が大幅に遅れる事態 6-5 広域、長期にわたる浸水被害及び液状化の発生により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-5 本事態 6-6 本質量な文化財や模域的資産の授失、地域コミュニティの崩壊等による有形、無形の文化的衰退・喪失 境界情報の消失、事業用地の確保・売延等により、復日・経済が不同に遅れる事態 6-7 機等による有形、無形の文化的衰退・喪失	復旧を図る。	5 - 4	上下水道等の長期間にわたる機能停止
6-1 より、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-2 道路密開等の復旧・復興を担う人材・資機材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-3 興め大幅に遅れる事態 6-3 興め大幅に遅れる事態 6-4 無急輸送路、鉄道等の基幹インフラの損壊により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-4 に再建・回復できる条件を整備する。		5 - 5	地域交通ネットワークが分断する事態
より、復日・復興が大幅に遅れる事態 6-2 り復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-2 り復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-3 地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-4 復興が大幅に遅れる事態 6-4 復興が大幅に遅れる事態 6-5 広域、長期にわたる浸水被害及び減状化の発生により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-5 広域、長期にわたる浸水被害及び減状化の発生により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-5 本態 6-6 本態 6-7 歳寒による有形、無形の文化的表現・復失 境界解像の消失、事業用地の確保・発延等よより、復日・後期が大幅に遅れる事態 6-7 機等による有形、無形の文化的表現・変失			大量に発生する災害廃棄物・災害発生土砂の処理の停滞に
6-2 り復旧・復興が大幅に遅れる事態 地域ミミュニティの崩壊、治安の悪化等により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-3 開が大幅に遅れる事態 6-4 復興が大幅に遅れる事態 6-5 に再建・回復できる条件を整備 7-5。 6-5 信・6 を収集が上幅に遅れる事態 6-5 原政等の基幹インフラの損壊により、復旧・復興が大幅に遅れる事態 6-5 素数である性医や職の確保ができず、生活再建が大幅に遅れる事態 6-7 機関を収集が、地域コミュニティの崩壊等による有形、無形の立て化的衰退・喪失 地域コミュニティの崩壊等による有形、無形の立て化的衰退・喪失 境界階級の消失、事業用地の確保・差延等により、復日		6 - 1	より、復旧・復興が大幅に遅れる事態
り復旧・復興が大幅に遅れる事態 6 大規模自然災害発生後であ 6 大規模自然災害発生後であ 6 大規模自然災害発生後であ 6 ても、地域社会・経済が迅速 16 に再建・回復できる条件を整備 6 - 6 協災者の住居や職の確保ができず、生活再建が大幅に遅れる事態 6 - 6 養産な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形、無形の文化的衰退・喪失 境界解解の消失、事業用地の確保・発経等より、復日・役別が保護の資産の要失、地域コミュニティの崩壊等の対象と、地域コミュニティの崩壊等による有形、無形の文化的衰退・喪失			道路啓開等の復旧・復興を担う人材・資機材等の不足によ
6-3 関が大幅に遅れる事態 6-3 関が大幅に遅れる事態 6-4 緊急輸送路、鉄道等の基幹インフラの損壊により、復日・ 7-1 を 地域社会・経済が迅速 6-5 に再建・回復できる条件を整備 する。 6-6 被災者の住居や職の確保ができず、生活再建が大幅に遅れる事態 6-6 数災者の住居や職の確保ができず、生活再建が大幅に遅れる事態 6-7 横重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの脱壊等による有形、無形の文化的衰退・喪失 境界解解の消失、事業用地の確保・遅延等により、復日		6 - 2	り復旧・復興が大幅に遅れる事態
6 大規模自然災害発生後であった。地域社会・経済が迅速に再なる事態			地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により、復旧・復
6 大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速 に再建・回復できる条件を整備 する。 6-5 広族、長期にかたる浸水被害及び液状化の発生により、復 旧・復興が大幅に遅れる事態 を災寒の住居や職の確保ができず、生活再建が大幅に遅れ る事態 6-6 養産な文化財や環境的資産の寮矢、地域コミュニティの崩壊等による有形、無形の文化的資道・喪失 境界解解の消失、事業用地の確保・遅延等により、復日		6 - 3	興が大幅に遅れる事態
6 大機権自然災害を生後であ っても、地域社会・経済が迅速 に再建・回復できる条件を整備 する。 6-5 旧・後興が大幅に遅れる事態 故災者の住居や職の確保ができず、生活再建が大幅に遅れる事態 6-6 最近な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの税 壊等による有形、無形の文化的衰退・喪失 境界情報の消失、事業用地の確保・発経等により、復日			緊急輸送路、鉄道等の基幹インフラの損壊により、復旧・
に再達・回復できる条件を整備 する。 日・復興が大幅に遅れる事態	6 大規模自然災害発生後であ	6 - 4	復興が大幅に遅れる事態
に再建・回復できる条件を整備 する。 6 - 6	っても、地域社会・経済が迅速		広域、長期にわたる浸水被害及び液状化の発生により、復
6-6	に再建・回復できる条件を整備	0-0	旧・復興が大幅に遅れる事態
る事態 貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形、無形の文化的衰退・喪失 境界情報の消失、事業用地の確保・遅延等により、復日	する。	e e	被災者の住居や職の確保ができず、生活再建が大幅に遅れ
6-7		0 - 0	る事態
			貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩
		0 - 1	壊等による有形、無形の文化的衰退・喪失
		6 - 8	境界情報の消失、事業用地の確保・遅延等により、復旧・
6-8 復興が大幅に遅れる事態		0-8	復興が大幅に遅れる事態
風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・	İ		風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・
6-9 倒産等による地域経済等への甚大な影響		0-9	倒産等による地域経済等への甚大な影響
	7 防災・減災と地域成長を両		人口減少・高齢化が進むことにより、地域防災力の低下が
立させた魅力ある地域づくり 7-1 生じる事態	立させた魅力ある地域づくり	7 - 1	生じる事態

重点化施策の抽出



■7つの施策分野 横断的、複数組合せ

(第4章 P64~)

●<u>6つ</u>の重要な課題 (第3章P58~)

(1) 静岡市地震・津波対策アクションプログラムに基づいた人命優先の取組 (2) 基幹的交通ネットワークを確保する (3) 災害発生時においても、防災拠点などの行政機能や情報通信手段などを確実に確保する

(4) 生活・経済活動への影響等を最小化するための機能を確保する

(5) 二次災害を防ぎ迅速な再建・復興を図る (6) -1 「自助」「公助」「共助」を適切に組み合わせる (6) -2 国、県、近隣市町、民間事業者と綿密に連携していく (6) -3 防災・減災のリーダー的人材を育成する

◎ 7 つの事前に備えるべき目標

(第3章P15~18) ▲ <u>40</u>のリスクシナリオ

◆20のリスクシナリオ(第4章P63~) 重点的に取組む (着色シナリオ)

		生 川 い に 以 社 り (有 円 ソ) リカ)	能/会				1C X		(6)-3 防	5災・減3	災のリ	ーダー	-的人材を	全育成する こうしゅうしゅう
事前に備えるべき目標		起きてはならない最悪の事態	▮危▮垫	15	ᄪᆘᇷ	経	教G	П	重要	な課題	[6	つ】		主な 対応施策
【7目標】		【40 リスクシナリオ】	管一一	A t	竟▲祉	済	教 育 X	3	1 2 3	4	5	6	6 6	縦断的、横断的な事業推進により、 <mark>効</mark>
						V		4			-		-2 -3	果的な事業推進
1 大規模自然災害が発生した時でも、	1-1	地震による建物等の倒壊や火災による死傷者の発生						_	•				•	公共建築物の耐震対策の推進
人命の保護が最大限図られる。	1-2	広域にわたる大規模津波等による多数の死者の発生						┸	•				•	海岸保全施設整備事業
	1-3	台風、豪雨などによる広域かつ長期的な市街地等の浸水による死傷者の発生(ため池の損壊によるものや、防災インフ						П	•				•	雨水幹線・ポンプ場整備事業
	1 /	ラの損壊・機能不全等による洪水・高潮等に対する脆弱な防災能力の長期化に伴うものを含む) 大規模な十砂災害による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり国土の脆弱性が高まる事態		+_	_			╬						ᆂᄭᄿᆍᅉᆎᆚᅩᄜᆉᇰᆂᆇ
	1-4								•			_	•	土砂災害等防止に関する事業
	1-5	情報伝達の不備や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者が発生 火山噴火や火山噴出物の流出等による多数の死傷者の発生						_	•			•	•	自主防災組織による地域防災訓練の実施 静岡市富士山火山防災マップの周知
2 大規模自然災害発生直後から救助・	2-1			_				_	•				•	市の緊急物資備蓄の促進
救急、医療活動等が迅速に行われるとと	2-2	多数かつ長期にわたる孤立地域等の同時発生						_						ヘリコプターを利用した消防体制の強化
もに、被災者等の健康・避難生活環境を	2-3	消防・警察・自衛隊等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足						╅	• •					消防団員の確保
確実に確保することにより、関連死を最		対助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期涂絶					_	+						災害拠点病院の自家発電装置
大限防ぐ。	2-4	想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者(観光客を含む)への水・食料等の供給不足	-	+_				╂						民間事業者との協力協定による体制強化
								+					_	
	2-6	医療施設及び関係者等の絶対的不足・被災、医療機能の麻痺						╬	•				•	大規模災害を想定した医療救護訓練の実施
	2-7	被災地における疫病・感染症等の大規模発生					_	╬						避難所開設時における感染症防止対策の検討、対策
	2-8	避難所が適切に運営できず避難所の安全確保ができない事態		_	• •				•			•		避難所における感染症等への対応・体制強化・整備
	2-9	緊急輸送路等の途絶により救急・救命活動や支援物資の輸送ができない事態		+-	_			ц.	• •				•	緊急輸送路等整備事業、道路橋の耐震化事業
		劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生						4		•	•			地域防災リーダー育成事業
	2-11	応急仮設住宅等の住居支援対策の遅延による避難生活の長期化						_						建設型応急仮設住宅事業、借上型応急仮設住宅事業
	2-12	被災者へのきめ細かい支援の不足による心身の健康被害の発生						_						災害時の健康支援活動体制の強化
3 大規模自然災害発生直後から必要な行政機能は確保する	3-1	市の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	-			•		١	•			•		学校施設の改修及び維持管理事業
4 大規模自然災害発生後であっても、	4-1	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力の低下による経済活動の停滞						ı						事業者等における事業継続計画(BCP)策定促進
経済活動 (サプライチェーンを含む) を	4-2	コンビナート・重要な産業施設の損壊、火災、爆発等						╅						事業者への災害対策に係る注意喚起業務
機能不全に陥らせない。	4-3	 基幹的交通ネットワーク(陸上・海上)の機能停止						7						緊急輸送路等における無電柱化
	4-4	 食料等の安定供給の停滞						╅						緊急物資の輸送計画に基づく迅速かつ円滑な供給
	4-5	観光業、商業、農業、漁業等あらゆる産業の被害拡大と産業の停滞	_					╅						民間事業者からの助言、支援に基づく施設管理
	4-6	↓ │ 農地・森林や生態系等の被害に伴う国土の荒廃・多面的機能の低下				 -		ı						放任竹林対策事業
5 大規模自然災害発生後であっても、	5-1	テレビ・ラジオ放送の中断や通信インフラ障害により、インターネット・SNS など、災害時に活用する情報サービスが						1						同報無線デジタル化整備事業
必要不可欠な情報通信機能、生活・経済		機能停止し、情報の収集・伝達ができず避難行動や救助・支援が遅れる事態						•				•		
活動に必要最小限の電気、ガス、上下水	5-2	電力供給ネットワーク(発変電所、送配電設備)の長期間・大規模にわたる機能の停止						-						静岡市エネルギー地産地消事業
道、燃料、交通ネットワーク等を確保するようなよりである。	5-3	都市ガス供給・石油・LPガス等の燃料供給施設等の長期間にわたる機能の停止				-		-						次世代エネルギーパーク関連施設管理運営業務
るとともに、これらの早期復旧を図る。 	5-4	上下水道等の長期間にわたる機能停止						-					•	上下水道施設耐震化事業
		地域交通ネットワークが分断する事態												バス路線維持対策事業、自主運行バス運行事業
 6 大規模自然災害発生後であっても、		大量に発生する災害廃棄物・災害発生土砂の処理の停滞により、復旧・復興が大幅に遅れる事態	-					+					•	静岡市災害廃棄物処理計画見直し
地域社会・経済が迅速に再建・回復でき		万量に光エッる及音洗来物・及音光エエッの起生の停滞により、後間・後興ガス幅に遅れる事態						╅			_			
る条件を整備する。			_					+			•		•	道路啓開の適切な対応の促進
	6-3	地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により、復旧・復興が大幅に遅れる事態				-		╬						地域防犯活動事業費補助金事業
	6-4						_	╬						鉄道軌道安全輸送設備等整備事業 四川本供的紹園活作和整備事業
	6-5	広域、長期にわたる浸水被害及び液状化の発生により、復旧・復興が大幅に遅れる事態			_			+			•		•	巴川流域貯留浸透施設整備事業
	6-6				•			+		+-+	_			被災家屋の被害認定調査、罹災証明発行業務
	6-7	貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形、無形の文化的衰退・喪失						+						市保有の文化財施設等の整備・維持管理
		境界情報の消失、事業用地の確保・遅延等により、復旧・復興が大幅に遅れる事態						4			•	•		地籍調査業務
	6-9	風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・倒産等による地域経済等への甚大な影響 						_						静岡市 HP や SNS の活用による情報提供
7 防災・減災と地域成長を両立させた 魅力ある地域づくり	7-1	人口減少・高齢化が進むことにより、地域防災力の低下が生じる事態	•	•				'				•	•	避難行動要支援者避難支援制度の推進

静岡市国土強靱化地域計画【概要版】

6) 達成度評価(第5章 P85~)

① 事業進捗状況の見える化

本計画は、実施目標、整備指標等を設定した様々な計画等に基づく事業を掲載しており、これらの事業全体で、 静岡市の災害リスクの軽減に取り組むものである。このため、本計画に掲載された事業実施により、本編第3章で 設定したリスクシナリオへの対抗力向上、強くしなやかな対応力が強化されることになる。

このため、各事業における適切な進捗管理が重要となるが、第4次静岡市総合計画の前期実施計画の計画期間と整合を図るため、令和8年度を一つの区切りとし、期間内を始期(令和4年度末)、中期(令和6年度末)、終期(令和8年度末)に分け、3つの時点において達成度の評価を行うこととする。

「第4章 重点化施策の抽出」における、「3 重点的に取組むべきプログラム推進のための主要な取組」に記載した各事業について**評価時点における目標値と実績値を比較**し、以下の基準により**達成度を判定**した。

≪達成度の判定基準≫

S (105%以上) A (90%以上 105%未満) B (70%以上 90%未満) C (70%未満) D (未実施) 一 (実施時期が未到来)

各事業における数値指標等を総合的に判断し、以下の基準により評価した。

≪評価基準≫

S:期待を上回る A:期待通り B:期待を下回る C:期待を大きく下回る D:未実施 -:実施時期が未到来

事業ごとに判定した達成度について、重点的に取組むべき 20 のプログラムごと各評価の個数を取りまとめ、<u>進</u> **捗状況を「見える化**」した。

なお、各事業の進捗管理を適切に行う必要があることから、詳細を<mark>別冊資料「重点的に取組むべきプログラム</mark> **ごとの達成度評価**」にまとめた。

≪重点的に取組むべきプログラムごとの達成度評価≫本編第5章

重点的に取組むべき20のプログラム					(時点ご	とに設っ	定した目	進 捗				ごとの	達成	度評	価)				
				R4	1211 - 1-	R6年度末時点							R8年度末時点						
	主点のに名が出せ、代でとし、ソフログラム	事業数	S	А	В	С	D	_	事業数	S	А	ВС	D	-	事業数	SA	В	С) –
1-1	地震による建物等の倒壊や火災による死傷者の発生	14	0	7	3	1	0	3									П		\Box
1-2	広域にわたる大規模津波等による多数の死者の発生	8	0	4	2	0	0	2											
1-3	台風、豪雨などによる広域かつ長期的な市街地等の浸水による死傷者の発生(ため池の損壊によるものや、防災インフラの損壊・機能不全等による洪水・高潮等に対する敵弱な防災能力の長期化に伴うものを含む)	6	0	2	0	1	0	3											
1-4	大規模な土砂災害による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり国土の脆弱性が高まる事態	4	0	2	2	0	0	0											
1-5	情報伝達の不備や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者が発生	9	1	6	1	0	0	1											
1-6	火山噴火や火山噴出物の流出等による多数の死傷者の発生	1	0	0	0	0	0	1					П		\top		П		\Box
2-1	被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資エネルギー供給の停止	5	0	5	0	0	0	0									П		\Box
2-3	消防・警察・自衛隊等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足	5	0	3	2	0	0	0									П		\Box
2-6	医療施設及び関係者等の絶対的不足・被災、医療機能の麻痺	2	0	2	0	0	0	0							П		П		
2-8	避難所が適切に運営できず避難所の安全確保ができない事態	11	0	6	2	0	0	3									П		\Box
2-9	緊急輸送路等の途絶により救急・救命活動や支援物資の輸送ができない事態	7	0	5	2	0	0	0									П		
2-10	劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生	5	0	3	2	0	0	0											
3-1	市の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	10	1	4	0	0	0	5									П		\Box
5-1	テレビ・ラジオ放送の中断や通信インフラ酸害により、インターネット・SNSなど、災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず避難行動や救助・支援が遅れる事態	5	0	4	0	0	0	1											
5-4	上下水道等の長期間にわたる機能停止	14	0	10	2	0	0	2									П		\Box
5-5	地域交通ネットワークが分断する事態	13	0	8	5	0	0	0											
6-2	道路啓開等の復旧・復興を担う人材・資機材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態	2	1	1	0	0	0	0											
6-5	広域、長期にわたる浸水被害及び液状化の発生により、復旧・復興が大幅に遅れる事態	5	0	3	0	0	0	2									П		
6-8	境界情報の消失、事業用地の確保・遅延等により、復旧・復興が大幅に遅れる事態	1	0	1	0	0	0	0							\Box				\Box
7-1	人口減少・高齢化が進むことにより、地域防災力の低下が生じる事態	2	0	1	1	0	0	0											
	合計	129	3	77	24	2	0	23	0	0	0	0 0	0	0	0	0 0	0	0 (0 0

行政・市民のメリット (第5章 P88)

① 被害の縮小化

- ② 施策事業の適切な進捗管理、 スムーズな進捗
- ③ 地域の持続的な成長を促す 等

・南海トラフ 巨大地震

風水害・新型コロナ

激甚化する

・新型コロナ等 新たなリスク ① 防災、減災に対する見える化

② リスクシナリオに対する脆弱性 及びリスクを回避するための 取組の見える化

③ プログラムごとの達成度評価に よる事業進捗状況の見える化

9 55555 11 35556 12 5555

防災•減災•復興

期待される効果(第5章 P88)

- ●災害発生時の被害を小さくするための対策 (ハード・ソフト) を強力に推進
- ●災害時に**人命・経済・暮らし**を守り支える重要なインフラの機能を維持できるよう**集中的、緊急的にハード対策**を推進するとともに、**市民の命や生活を守るためのきめ細やかなソフト対策**を推進
- ●近年の災害から得られた教訓や社会情勢の変化等を踏まえた、**事業の適切な見直し**

「安心・安全をみんなで創る、 強くしなやかなで持続可能なまち」の実現



9) 計画の推進

① 重点プログラム推進のための主な取組 (第4章 P74~)

※進捗管理の一例

達成時期 主な計画 該当課 (予算提/事業課) 設定年度 数值目標 建築安全推進課 90.7% 宅の計算化率 H30年度末 95.0% R7年度末 93.1% 95.0% R7年度末 建築安全推進課 建築物の耐雲化率 H30年度末 住宅·建築物耐震改修事業 R2年度末 R12年度末 R7年度末 住宅・建築物アスベスト改修事業 R7年度末 H30年度末 公立小中学校校舎耐震補強事業 舎の耐雪化完了

重点的に取組むべき 20 プログラムについては、その重要性に鑑み、進捗状況等を踏まえつつ、取組の一層の推進、事業精査、検討に努める。

⇒PDCA サイクルを回す

事業毎に使用している単位、工区割り等に基づき、具体的な箇所名等を、別冊「静岡市国土強靱化地域計画推進のための取組」へ明記、具体性・個別性及び社会情勢等に鑑み、適時適切に更新を行う。

②計画の見直し (第6章 P90)

本計画は、国の国土強靱化基本計画の見直し時期と整合をとるため、概ね5年を目安とするが、 静岡市総合計画と整合を図る必要があること、 社会経済情勢等の変化や施策の進捗状況等を考慮 する必要があることから、必要が生じた際には、 随時、計画内容の変更検討、見直しを行うことと する。

